

# 調査報告書 県政・活動

発行●榎津博士事務所 発行責任者●榎津博士  
事務所●寒河江市元町三丁目3-3 大和ビル2階  
電話●0237-84-7117 FAX●84-7118  
URL <http://h-umetsu.jp> E-mail:h-umetsu@ic-net.or.jp

# 山形県議会議員 うめ つ ひろ し 榎津博士 寒河江・山形の元氣のために

## 東日本大震災対策特別委員会設置



宮城県女川町の現地調査 背後の建物が女川町役場



女川駅周辺

東日本大震災発生から4ヶ月が経過いたしました。

被災地では懸命な復旧作業がおこなわれておりますが、未だもって体育館などの避難所生活を余儀なくされている方も多い状況にあります。

被災地での隣県である我が山形県において、被災地の復旧復興にむけてどのような支援や協力を実施すればよいのか、5月20日に県政クラブの会派7

名にて宮城県の女川町、6月13、14日の東日本大震災対策特別委員会にて宮城県気仙沼市や名取市などでの被災地現地調査に行つて参りました。

現地では復旧作業が急ピッチで進められておりましたが、場所によってはいまだに手つかずの所もあり、まだまだ復旧にはほど遠い箇所も見受けられました。

また、福島第一原子力発電所の事故による放射能漏えい問題も極めて深刻な状況にあり、被災地のみならず本県にも風評被害や実被害をもたらしており、早期の収束に向け全力で対応していかなくてはなりません。

私たちはこの度の震災により多くの教訓を得ました。本県の燃料備蓄・供給体制の不備、支援物資の運搬における高速道路を含む道路網整備の脆弱さ、太平洋側に主要な企業や設備などが集中していることにより受けた影響などなど・・・今後復興を進めていく上でリスク分散を念頭に、新しい東北のあるべき姿をしっかりと考えていかなくてはなりません。

このようなことから、県議会では東日本大震災対策特別委員会を設置して、東北・日本における本県のあるべき姿についてこの度の震災の教訓を活かした議論が行われ、意見の集約がなされました。

これらを基に本県の発展と被災地の復興に努め、より安全で安心して暮らせる県土の構築に誠心誠意努めて参ります。

## 東日本大震災対策特別委員会の概要

東日本大震災対策特別委員会は、東日本大震災による未曾有の被害及び副次的影響に対応するため、本県における県土防災及び県民生活の安定の確保並びに県内経済の正常化をはじめとする諸施策を推進し、併せて新しい東北地方・山形県のあり方を提言することを目的として設置され、様々な調査審議を行います。

また、東日本大震災対策特別委員会の調査項目に関する詳細な調査及び提言内容に関する協議・調整を行うため、東日本大震災対策特別委員会小委員会を設置することが決定されました。

- 委員長 今井榮喜
- 副委員長 木村忠三
- 委員 議長・副議長を除く全議員
- 小委員長 野川政文
- 副委員長 榎津博士



桜井勝延南相馬市長を県議会に招いて本県の支援体制構築にむけて意見交換会